

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|------------------------|----|------------|
| ○事業所名 | 児童発達支援・放課後等デイサービス HUGS | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2026年3月1日 | | 2026年3月21日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 5 | (回答者数) 5 |
| ○従業者評価実施期間 | 2026年3月6日 | | 2026年3月21日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 12 | (回答者数) 11 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年 3月 31日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|--|---|
| 1 | 放課後等デイサービスとの多機能を利用した継続的な支援体制と、異年齢同士でのコミュニケーションの獲得 | 園や家庭でもない、第3の居場所として安心して過ごせる空間・環境作りを意識しています。特に児童発達支援から就学への環境の変化に対し、事業所での人間関係が変化しないことで、子ども、保護者共に安心して通所できるようようにしています。異年齢が同時に活動することで、多様性を受け入れ、人とのコミュニケーションが自然と身に付く支援を実施しています。 | 就学にむけての発達段階に合わせて、より専門的に関わられるように研修等で職員の知識向上に努めます。相手を理解・尊重する機会をたくさん持ち、気持ちの成長を促す取り組みを行います。 |
| 1 | 楽しく通所できる多彩な活動プログラムを設定し、丁寧なきめ細かい対応 | “静”、“動”を合わせながら活動を設定し、飽きることなく常に意欲的に取り組めるプログラムを行っています。基本的な生活動作から集団での活動など、様々な資格者を配置することで充実した支援を実施しています。また、子ども・保護者、園、相談支援専門員と信頼関係を築いていけるように、こまめに対応しています。 | 園や役所、保健センター、医療機関、併用事業所など、各機関と連携を強化していきます。成長に合わせた支援方法を模索し、子どもの力を伸ばせるな課題を設定していきます。 |
| 3 | 本人の意思表示、意思決定ができるような丁寧な関わりの実施 | どのような場面でも、本人の意思を聞く、汲み取る機会を設けています。その中で、意思を形成すること、表出することを大切にしています。 | 職員の雇用の継続性、専門性を高め、子ども・保護者と信頼関係を構築して、安心して通所できる環境づくりに取り組んでいきます。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|---|---|
| 1 | 家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会がない | 保護者のニーズに合わせての情報提供の機会が不足していると思っています。ニーズが把握できていないこと、職員の専門性の獲得が出来ていないと思います。 | ペアレントトレーニングの専門知識を持つ職員が不足しているため、研修等を実施して個別に対応できる人材を増やしていきます。 |
| 2 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会の確保 | 保育所、こども園、幼稚園との並行利用が多く、保護者ニーズがないと考えています。地域の方との交流は、公園等で一緒になった時は共に活動することもあります。配慮のいる子どもに目が届きにくい恐れがあり、実施出来ていません。 | 一緒に活動できるイベントを企画・開催することで、地域の住民や商店・企業様との合同活動を持てるよう取り組んでいきます。 |
| 3 | 各マニュアルなどの情報の公開方法がバラバラになっており、確認したい時に見ることができない状態 | マニュアル制定時に配布しHPで公表していますが、保護者や子どもにそれらが伝わっていないように感じています。また職員も自主的に確認することが出来ておらず、意識が低いと思っています。 | 職員、子ども、保護者にマニュアル、非常時の取組みを意識してもらえるようにツールを活用していきます。 |